



# News

2009年4月1日

## 博報堂 2009 年度入社式

博報堂は4月1日(水)午前10時、港区赤坂の本社に新卒採用者101名迎え、成田純治社長以下役員及び部門長が出席して2009年度入社式を行いました。新入社員が一人ひとり紹介された後、成田社長が歓迎と激励の言葉を贈り、式を終了いたしました。

成田社長の挨拶の趣旨は以下の通りです。

本日、私達は101名の無限の可能性を持った皆さんを、新しい仲間として迎えることになりました。会社を代表して、心より、歓迎いたします。アクティブでエネルギーに満ち溢れた若者が、この博報堂の仲間となることに対して強い期待を抱いております。

私たちの仕事は、コミュニケーションを通じて、生活者や社会を幸せにすることです。皆さんが、若い才能、体力、実行力を活かして、生活者や社会にたくさんの幸せをもたらしてくれるものと確信しています。自信を持って、素直にまっすぐに成長して行って下さい。

さて、世の中に目を向けてみると、ニュースや新聞では「100年に1度の不況」と言われているように、厳しい経済状況が続いており、社会や企業は様々なものを見直し、新しい試みによって成長しようとしています。そんな中で、広告ビジネスにおいても、近年のメディア環境の変化やIT技術の進歩に伴って、仕事の領域が拡大し、お得意先である企業の様々な課題に応える必要が出てきています。お得意先が広告会社に求めることの範囲が非常に多岐にわたり、博報堂への期待は、私たちが想像する以上に高まっています。こうした流れは、お得意先や生活者、さらには社会全体を幸せにするという博報堂の役割を大きく広げるチャンスに他なりません。

このような期待が高まっている中、皆さんは今日、博報堂に入社されたわけですが、広告というビジネスは決してひとりではできません。社員同士だけではなく、お得意先或いはメディア、関係会社とタグを組んでチームワークを発揮することが、博報堂の大きな力を発揮できる原動力となるのです。出来る限り早く会社・現場に慣れていただき、社内はもちろん、お得意先においても人脈を広げ、さまざまなことを経験し、知見を高めていってください。皆さんには、ぜひ、自分たちが「あたらしい博報堂」を背負って立つのだという強い意志を持っていただきたいと思います。

さて、これから初めて広告ビジネスの世界に足を踏み入れる皆さんに、仕事をする上で大切にしていただきたいことがあります。

それは、「信頼」です。

私たちのビジネスは、人と人のコミュニケーションから生まれる「信頼」で成り立っています。お得意先、メディア、関係会社、そして社会、全ての人たちとの「信頼」があって初めて、世の中に大きな幸せの渦を巻き起こすことができるのだと思います。

皆さんの世代ですと、若いころからネットやメールに慣れ親しんでいるのではないかと思います。人との「信頼」を築く上で、フェイス・トゥー・フェイスのコミュニケーションの重要性はいつまでも変わることのないところだと思います。ぜひ一人ひとりが、直接言葉で伝え合うという姿勢を大切にしてください。皆さんの活発なコミュニケーションが生み出す「信頼」が、新しいビジネスチャンスの創造へと繋がっていくこと信じています。

一方で、企業が社会生活から逸脱したことを起こせば、あっという間に世の中の「信頼」を失ってしまう時代です。そして、一度失った「信頼」を取り戻すには非常に時間がかかります。ですので、皆さんには、博報堂の一員であることを強く意識して社会人として恥ずかしくない行動を徹底していただきたいと思います。

博報堂は、人が資産の会社です。

博報堂は、人が自由に発想し、交流し、お互いを刺激しあい、まったく新しいアイデアを創発して価値を生み出してゆく、そんな会社でなければならないと思います。皆さんには、自分が博報堂の一員であるという強い意識をもつ一方で、是非、人と出会うこと、人とアイデアをぶつけ合うことに楽しみを覚えながら、自由に発想してほしいと思います。それが「あたらしい博報堂」をさらに活気づけ、前進させてくれると確信しています。

博報堂はチャレンジをする人には寛容な会社です。皆さんが、失敗を恐れず、新しい仕事、難しい仕事、そして大きな仕事に挑戦し、新しい時代を駆け抜ける「あたらしい博報堂」をつくりあげてくれることを期待しています。

新たなステージを迎える博報堂は、そのブランドを預けるに値する人材として、皆さんを選びました。そして皆さんも自分の人生を賭けるに値する場として、博報堂を選んだことと思います。

博報堂の未来は、皆さん一人ひとりにかかっています。我々も全力を尽くして博報堂の経営を行ってまいりますので、皆さんも共に「あたらしい博報堂」の未来を、力強く切り開いていきましょう。

以上をもちまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

2009年4月1日  
株式会社博報堂  
広報室